

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課
 担当名: 交通事故緊急対策担当
 内線: 5098

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|--|-----------|---------|-----------------------------|--|-----|------------|------------|--------------------------------|------------------------------------|
| P13 | 道路安全施設費 | | | 一般会計 | 土木費 | 道路橋りょう | 道路維持費 | 道路安全施設費 | |
| 事業期間 | 昭和41年度～ | 根拠法令 | 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 道路法 | | | 針路 分野施策 | 09 0901 | 未来を見据えた社会基盤の創造 住み続けられるまちづくり | SDGsゴール 11 SDGsターゲット 11-2, 11-7 |
| 1 事業の概要 道路附属物の適切な維持管理、整備することにより、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。 道路附属物の修繕 △589千円 事務費の節減等による減額補正 | | | | 5 事業説明 (1) 事業内容 ア 道路附属物(照明灯等)の電灯料: 道路附属物の電気設備を使用するため、電気料金を負担する。 イ 道の駅、トンネル等の維持管理: 道の駅やトンネル等における設備機能を維持するため、点検及び修繕等を実施する。 ウ 道路附属物の修繕: 道路交通安全、円滑を確保するため、道路附属物の点検及び修繕等を実施する。 エ 道路附属物の整備: 道路交通安全、円滑を推進するため、道路附属物を整備する。 オ 道路照明灯具の賃借料: 道路照明灯具のLED化を推進するため、リース方式による賃借料を負担する。 カ ガードレール等による通学路の安全対策を実施する。 キ 道路附属物の修繕(財政課指定経費): 道路交通安全、円滑を推進するため、道路照明灯及び大型標識、トンネル設備を修繕する。 事務費の節減等による減額補正 △589千円 | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | (2) 事業計画 道路照明灯や防護柵等の道路附属物について、劣化状況に応じた修繕を実施する。 | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 地方道路等整備事業債 充当率90%(通常分90%) 公共施設等適正管理推進事業債 充当率90%(通常分90%) 一般単独事業債 充当率75%(通常分75%) 交付税措置 通常分30%~50%(公適債) | | | | (3) 事業効果 道路附属物を適切に維持管理、整備することにより、安全かつ円滑な交通環境が図られ、交通事故の削減と道路通行の安全を確保できる。 | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×10.5人=99,750千円 | | | | (4) その他 イ 道の駅、トンネル等の維持管理 負担対象: 道の駅はにゅう外5箇所 対象経費: 道の駅等の維持管理に要する費用 負担率: 所要額 相手方: 羽生領土地改良区他3者 工期: 毎年度 | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| | | 諸収入 | 県債 | | | | | | |
| 決定額 | △589 | | | | | | | △589 | 4,014,980 |
| 現計額 | 4,015,569 | 125 | 2,239,000 | | | | | 1,776,444 | |

事業内訳書

| | | | |
|-------|---------------|-----|---------|
| 事業名 | 道路安全施設費 | | |
| 単位事業名 | 道路付属物の修繕（事務費） | 予算額 | △ 589千円 |

○歳入

（単位：千円）

| 款・節 | 補正予算額 | 対前年度増減額 | 主な内容 |
|------|-------|---------|------|
| 一般財源 | △589 | — | |
| 合計 | △589 | — | |

○歳出

（単位：千円）

| 節 | 補正予算額 | 対前年度増減額 | 主な内容 |
|-----|-------|---------|-------------|
| 役務費 | △589 | — | 事務費の節減等による減 |
| 合計 | △589 | — | |